



未来への一步

～Let's create the future together～

第064号

発行：兵庫県立播磨特別支援学校

はりゴン

〒679-4002 たつの市揖西町中垣内乙135番地1

TEL (0791) 66-0091 URL <http://www.hyogo-c.ed.jp/~harima-sn/>

FAX (0791) 66-0092 E-mail harima-sn@hyogo-c.ed.jp

第2回販売実習～就業技術科2年生～

7月6日(水)、7日(木)の2日間、赤とんぼ広場ショッピングセンターにて、就業技術科2年生1・2組が販売実習を実施しました。製作実習で製作している「生産(木工)・工芸(陶工)・園芸」の3つのコースの商品を販売しました。お借りするスペースの関係で今回は環境(皮革)製品の出品はありませんでした。販売開始前から地域の方々や保護者の方々がたくさんお越しくださいました。本当にありがとうございました。

開店前、生徒たちは緊張した面持ちでしたが、徐々に「いらっしゃいませ」「ありがとうございました」と大きな声を出せるようになったり、「かごをお使いくださいませ」とお客様に自然と声をかけることができるようになりました。

販売実習を楽しみにしてくださっている地域の方々から温かいお言葉を頂戴し、生徒の成長を実感する貴重な経験となりました。



薬物乱用防止・スマホ安全教室 授業体験及び入学相談

7月8日(金)、姫路南少年サポートセンターより、田中様・斎藤様・福井様を講師としてお招きし、「薬物乱用防止及び携帯電話・スマートフォン安全教室」を全校生徒対象に実施しました。

薬物に対する恐ろしさや、未成年者の喫煙・飲酒などの延長から薬物に手を出していることを知りました。またSNSの問題については、実際にあったトラブルをもとに作成されたDVDを見ることで、生徒が巻き込まれやすい実態を学ぶ良い機会となりました。

集中して話を聴くことができ、熱心にメモをとる生徒の姿もあり、夏休み前の貴重な学習となりました。

7月22日(金)と25日(月)～28日(木)に就業技術科の授業体験、29日(金)と8月2日(火)3日(水)に普通科・総合ビジネス科の入学相談を実施しました。

期間中就業技術科の授業体験65名、普通科・総合ビジネス科の入学相談5名、合わせて70名の中学3年生に参加していただきました。また、多くの保護者と各校の先生方にも参加していただきました。

※中学1・2年生対象のオープンスクールは、11月23日24日25日28日29日30日の6日間で開催予定です。詳しくはホームページをご確認ください。

技能検定 受検

令和4年度兵庫県特別支援学校技能検定が、7月27日(水)に赤穂特別支援学校で物流・品出し部門、8月1日(月)に本校でビルクリーニング部門、8月3日(水)に西はりま特別支援学校で喫茶サービス部門が実施されました。本校からは、延べ90名の生徒が受検しました。今年もコロナウイルス感染症の影響がある中での開催でしたが、受験生徒たちはこの日のために、6月より熱心に練習に取り組みました。

本番では緊張感のある中、練習の成果を発揮できた生徒、なかなか練習通りにはいかなかった生徒とさまざまでしたが、一生懸命頑張りました。

この検定は県立特別支援学校高等部の生徒が、自立し社会参加するために、身に着けた就労に関する力を公的に証明し、就労希望が実現できるよう毎年実施されています。昨年度よりパソコン部門も加わり、今年度より本格実施となります。本校では、10月に校内で実施する予定ですので、こちらも頑張ってください。



夏休み中の部活動

夏休み期間中、陸上競技部・卓球部・ソフトボール部が活動しました。

【陸上競技部】

近隣の特別支援学校陸上競技部と合同練習を行いました。お互いに良い影響を受け、刺激し合って意識を高く持つことができ、記録計測では自己記録を更新する生徒が多くみられました。今回の経験を今後の大会や記録会に繋げていけたらと思っています。

【卓球部】

暑期中、コロナウイルス感染症と熱中症対策をしながら各自の目標に向けて練習しました。8月21日(日)に、西播磨総合リハビリテーションセンターで「ふれあい卓球大会」がありました。参加した部員は、練習の成果を発揮し頑張りました。夏休みの練習最終日には、体育館の掃除とワックスがけを行いました。

【ソフトボール部】

本格的な暑さの中、グラウンドでの練習を中心に行いました。こまめに休憩や水分補給を取りながら、集中力を保ち練習に取り組むことができました。



NIE 推進 第2回記者派遣事業～3年就業技術科～

9月8日(木)、兵庫県NIE推進協議会事務局長の三好正文様を講師にお迎えし、2回目の新聞記者による出前授業がありました。今回のテーマは「主権者教育」、投票シミュレーションゲームなどを通して、投票することの大切さや投票行動へのつなげ方についてみんなで考えながら学ぶことができました。生徒たちは、「1票に205万円の価値があるということに驚きました。20代の投票率が低いので、20代になっても投票に行こうと思いました。」「有権者の中での年代別によって意見も変わってくるので、決して否定するのではなく、受け入れながら考えていくのも重要だと思いました。」「あまり興味がなかったけど、投票のやり方などわかりやすく教えてもらい、よく分かりました。」

